

【資料 6】企業会計基準委員会（ASBJ）における会計上の問題の取扱いについて

- 本年 3 月 7 日の第 35 回基準諮問会議において、同会議の委員である全国銀行協会（以下「全銀協」）より、「金利指標改革に起因する会計上の問題について」と題する新規テーマの提案がなされた。
 - 全銀協の提案においては、ヘッジ会計をはじめとする金利指標改革に起因する会計上の問題について、本邦において多くの市場参加者から懸念が示されていること、また IASB 等において国際的な検討が進められていることを踏まえ、この問題が市場の混乱を引き起こすことや、企業・金融機関の財務の安定性を損なうことのないよう、ASBJ における早期の検討が要望されている。
- 全銀協の提案について、基準諮問会議の事務局より、基準開発の可否を含めて適時に ASBJ で検討を行うよう包括的に新規テーマとして提言する対応案が提示され、同会議における審議の結果、了承された。事務局の対応案は、以下①および②の趣旨を踏まえたもの。
 - ① 金利指標改革について会計上の取扱いも国際的に歩調を合わせることが重要であり、我が国においても市場が混乱することを避けるために何らかの検討が必要となることは明らかであるほか、国際的に歩調を合わせるため機動的に基準開発できる態勢を整えておくことも重要と考えられること
 - ② LIBOR の恒久的公表停止その他の金利指標を巡る取組みや国際的な会計上の取扱いについて不明確な点が残る中で、具体的な基準開発の提言をすることは現時点では困難と考えられること
- これを受け、3 月 22 日の第 405 回企業会計基準委員会において、基準諮問会議議長より、金利指標改革に起因する会計上の問題について、基準開発の可否を含めて適時に ASBJ で検討を行うよう、包括的に新規テーマとして提言がなされた。
- また、4 月 11 日の第 406 回企業会計基準委員会において、基準諮問会議からの提言を受け「金利指標改革に起因する会計上の問題について」を新規テーマとして取り上げることが承認された。ASBJ が 4 月 15 日に改訂・公表した「現在開発中の会計基準に関する今後の計画」では、基準開発の可否も含めて適時に検討を行うことを予定している旨、国際的な会計基準の動向や制度改正の状況を踏まえて、今後、適時に検討を開始する旨が示されている。
- 日本円金利指標に関する検討委員会としても、こうした動きを歓迎し、ヘッジ会計等の問題について、ASBJ において適時に検討が進められることを期待するとともに、今後も必要な協力を行って参りたい。

以 上